

プログラム詳細

12月17日(火)

9:40-10:00 開会挨拶

10:00-10:45 基調講演「無形文化遺産と地域コミュニティ」

講演者：吉田憲司（国立民族学博物館長）

11:00-12:50 セッション1「まちづくり—無形文化遺産と地域振興」

司会 石村智（東京文化財研究所無形文化遺産部）

1. 「コミュニティ開発としての消滅危機言語の保護—ハドハド詠歌の事例」
ローデス Z. ヒナンパス/ジェスリー O. デルアイル（フィリピン語委員会）
2. 「民族性の物質化—中国南西部における藏銀（チベット銀）の文化的アイデンティティと観光による消費」
李菲（四川大学、中華人民共和国）
3. 「海面上昇、沈下しつつある島々、入植者の植民地での知的生産の時代における持続可能な航海と島の研究」
ヴァイセンテ・ディアズ（ミネソタ大学ツインシティーズ校、アメリカ合衆国）
4. 「アジアにおける観光、地域開発及び遺産の保存」
田代亜紀子（北海道大学）
5. 「無形文化遺産の活用とミュージアムという生業」
吉原秀喜（北海道平取町アイヌ政策推進課）

14:00-15:10 セッション2「まちづくり—環境と無形文化遺産」

司会 石村智（東京文化財研究所無形文化遺産部）

1. 「都市の継続性:歴史都市カトマンズのアイデンティティと復活力の維持」
カイ・U・P・ヴァイゼ（ICOMOS ネパール）
2. 「ラパット・システム」
ノーマ・A・レスピシオ（フィリピン大学ディリマン校）
3. 「カトマンズ盆地・ネワール集落におけるアスタマトリカ（8人の女神）」
森朋子（札幌市立大学）

15:30-17:40 セッション3「人づくりからまちづくりへの提言」

司会 岩本渉（IRCI）

1. 「Ako—SDG 4.7と無形文化遺産が交わるポリネシアの伝統的なコンセプト」
サンドラ・L・モリソン（ワイカト大学、ニュージーランド）
2. 「文化的景観 SAUJANA サウジャナを維持するための災害リスク軽減教育」
ラレトナ・T・アディシャクティ（ガジャマダ大学、インドネシア）
3. 「教員養成のための数学教授法課程における無形文化遺産—植民地時代以前の知識と知恵の認識と評価」
ムニラ・Bt・ガザリ（マレーシア科学大学）

4. 「無形文化遺産の保護と教育を通じた持続可能な開発の推進」
ズオン・ビック・ハン（ユネスコバンコク事務所）
5. 「伝承者育成事業研修生として体験し、学んだこと」
中井貴規（国立アイヌ民族博物館設立準備室）
6. 「生命地域（bioregion）における伝統的知識に基づいた ESD（持続可能な開発のための教育）」
古澤礼太（中部大学）

12月18日（水）

10:00-12:00 総括セッション

司会 ズオン・ビック・ハン（ユネスコバンコク事務所）

ファシリテータ 菊池健策（東京文化財研究所）

12:00-12:10 閉会挨拶

（注：発表者・タイトル等につきましては、現在予定されているものであり、都合により変更になる可能性がございますことをご了承ください）